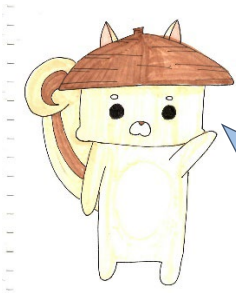


支援教育の取り組み



立野台小キャラクター たっつー

支援教育とは

子どもたちは、いろいろな課題を抱えるとともに、その解決に向けて努力しています。

しかし課題によっては、自らの力だけでは解決が難しく、悩んだり困り感を抱えたりしていることもあります。

その一人ひとりの持つ課題を『教育的ニーズ』といい、それらに応じた働きかけを広い意味で、神奈川県では『支援教育』といいます。

教育的ニーズとは・・・

- ・読むことが苦手 ・書くことが苦手 ・計算が苦手 ・話すことが苦手
- ・話を聞くことが苦手 ・作文や言葉での説明が苦手
- ・座っていることが苦手 ・場の空気を読むことが苦手 ・会話が苦手
- ・運動が苦手 ・細かい作業が苦手 ・集中を持続させることが苦手
- ・人とうまくコミュニケーションをとることが苦手 など

【立野台小学校にある支援の場】

- ・特別支援学級 たつのご級(知的)、ひまわり級(情緒)、みどり級(病弱・難聴)
- ・情緒通級指導教室 ・国際教室 など

支援教育は、一人ひとりを大切に全職員の共通理解のもと、チームで対応しています。発達や支援にかかわることのご相談は、各担任および教育相談コーディネーター、スクールカウンセラーがお受けいたします。

年間を通して受け付けておりますので、いつでも気軽にご相談ください。

※教育相談コーディネーター よし かわ ひがし 吉川・東

☎254-8100

裏面には「通級指導教室」について記載しておりますのでご覧ください。